



住宅防火自己診断のお願い



市内火災件数 **152**件 (令和2年)

✓点をつけチェックしてみましょう!

1位 **放火** 27件



- 家のまわりに燃えやすいものを置いていない
- ゴミは指定された日時・場所に出している
- 玄関・物置・車庫に鍵を閉めている

2位 **たばこ** 17件



- 寝たばこはしていない
- たばこは水で消してから捨てている
- 灰皿に吸殻をためていない

3位 **こんろ** 15件



- こんろのそばを離れる時は、必ず火を消している
- こんろのまわりは、いつも整理整頓している
- 台所に住宅用火災警報器を設置している

その他



- コンセント差込口のほこりを掃除している
- コードを束ねていない
- たこ足配線をしていない
- 洗濯物をストーブの上に干していない
- 石油ストーブは火をつけたまま給油をしていない
- ストーブの周りに燃えやすいものを置いていない
- ろうそく・線香をつけたまま、その場を離れていない

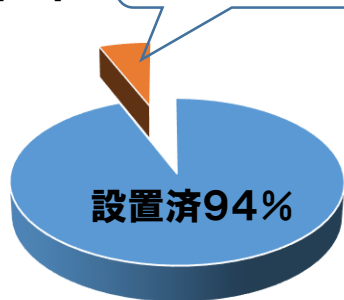
診断チェック欄 に✓点が付かなかった項目がある場合は、火災の危険性が高まっています。改善し火災を起こさない安心な生活を心がけましょう。

住宅用火災警報器を設置しましょう！

設置場所：寝室、台所、階段（2階に寝室がある場合等）

設置率

未設置 6%



◆【事例1】

居住者が天ぷら鍋で揚げ物を調理後に食事をしていたところ、台所の住宅用火災警報器が鳴っていたため台所を確認すると、天ぷら鍋から炎が上がっていたが、無事に避難することができた。

◆【事例2】

居住者が寝室で灯明のためローソクに火をつけてその場を離れたところ、ローソクが寝具の上に落下、寝室の住宅用火災警報器が鳴ったことから、寝具で消火することができた。

住宅用火災警報器の点検維持管理をしましょう！

定期的にテストボタンを押したり、ひもを引いたりして正常に作動するか確認しましょう！正常に作動しなければ、電池切れや故障が考えられますので、取扱説明書を確認してください。

住宅用消火器を設置しましょう！

消火器具の使い方、1. 2. 3. !

初期消火のポイントは、この3つ。



住宅用消火器の使い方も、この3アクション。

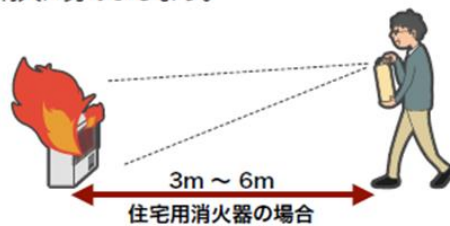


エアゾール式簡易消火具はもっと簡単。片手でしっかり持って、ノズルは火元をねらい、ボタンを押してください！



消えたと思っても最後まで！

火元への距離は下図の通り、ねらいを定めて消火薬剤を放射します。途中で火が消えても最後まで使いきり、完全な消火に努めましょう。



住宅用消火器の場合



エアゾール式簡易消火具の場合

※上記は概ねの距離です。各消火器具には火元からの距離が明記されていますので、必ずご確認ください。